

臨床心理学

[講義] 第2学年～第3学年 後期 選択 2単位

《担当者名》 本谷 亮 (心理科学部) motoyan@hoku-iryo-u.ac.jp 関口 真有 (心理科学部)

【概要】

臨床心理学とは、応用心理学の1つであり、心理学的な諸理論や科学的知見に基づく方法を実践し、問題行動の改善、心理社会的な不適応状態の解消、さまざまな病理的問題の解決、あるいは人格的な成長の促進を目指す学問、かつ専門的な援助体系である。

この講義では看護師・保健師が直面する具体的な問題への臨床心理学的な対応や考え方を通して、臨床心理学とは何かについて勉強し、看護について考える視点を獲得する。

【学修目標】

- 1) 臨床心理学の基本的概念を理解する。
- 2) 臨床心理学の諸理論や発想を学び、看護の現場における広い視野を獲得する。
- 3) 臨床心理学の発想や技法を学び、臨床場面で活かせる対人的な援助技術を習得する。
- 4) 臨床心理学による治療とは何かを学び、連携に活かす。

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部(研究科)、学環、学校の授業実施方針による

【ディプロマポリシー(学位授与方針)との関連】

DP3. データサイエンティストとして、社会の変化に関心を持ち、人々の新たなニーズに創造的に対応できるように生涯にわたり自己研鑽する姿勢を身につけている。

DP5. 複雑化する医療・保健・看護・福祉・心理の現場での医療専門職とのコミュニケーションを通して多職種で協働し、データサイエンティストとしての専門性を発揮する姿勢を身につけている。

【実務経験】

本谷 亮 (公認心理師・臨床心理士)

関口 真有 (公認心理師・臨床心理士)

【実務経験を活かした教育内容】

公認心理師・臨床心理士として、医療機関、その他相談機関での経験を活かし臨床場面への心理学的なアプローチを講義する。